



第1号

平成20年(2008年)11月28日(金)発行
発行元:みやげじま『風の家』
(三宅島災害・東京ボランティア支援センター)
発行責任者:坂上幸一郎
東京都三宅島三宅村阿古532-1
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所併付)
電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471
E-mail

みやげじま『風の家』でくりかえされる日常の中で、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。
多くの方が「やさしく なかよく」つながっていることの大切さ。ただそれだけを見つめて・・・

＼(o)／ お蔭様で「4年目」を迎えました

2005年10月5日にスタートしたみやげじま『風の家』の活動は、今年4年目を迎えました。振り返れば、あの噴火災害以降、今日のようなくらしが待ってくれていたとは想像もできませんでしたが、一人ひとりの懸命の努力とたくさんの方々と共に「今日」というくらしが創り上げられてきたと実感しています。

『風の家』は、そんな島の中で新しい出会いとそして、出会った人たちが本当に仲良くやさしく過ごすことの意味を多くの人と共に感じながら活動を続けています。地域の皆さんまた、たくさんの方々にとって良い「家」であるように願いながら引き続き精一杯活動を続けていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

(^)♪ 「うたの会」がありました

4年目を迎えたこともあり、今年も『うたの会』を開催しました。日頃顔を合わす機会の少ない利用者の方々や協力員、ボランティアさんが一堂に会し楽しい時間を過ごしました。

『風の家』では日頃から「うた」を歌っています。懐かしい童謡から若かりし頃のあのヒット曲、そうかと思えばつい最近の曲までさまざまです。レパートリーも増えて最近では唄あり、踊りありと元気に楽しんでいます♪

そんな中でも、やっぱり「島節」は格別の趣があり、唄う人によって味わいがありますネ。



(..? みやげじま「風の家」って...?

平成12年に起こった噴火災害。その直中にいる島の人たちを少しでも支えたいと組織されたのが「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」でした。東京を中心とするたくさんの労働団体・生活協同組合・多様なグループなどの方々との連携の上に組織されています。避難期間中には島の皆さんと一緒に「島民ふれあい集会」も開催させていただきました。また、とても広い範囲に分散しなければならない避難生活の中で「島民電話帳」を作らせていただき活用させていただきました。「みやげの風」という生活情報誌の発行に当たっては、島の皆さんにはたいへんお世話になりました。そして、いよいよ帰島が決まった時には、帰島される皆さんと一緒に、赤い帽子をかぶったボランティアが実際に島に滞在しやさやかですが「くらし」のはじめの一步をご一緒させていただきました。

私達の活動は、いつも島の皆さんとご一緒させていただく中で、たくさん大切なことに気付かせていただきました、多くのことを考えさせていただきました。

帰島して現れた新しい「三宅島」。そこでは、多くの方々がそれぞれの役割の中で懸命の努力をなされていることを私達は知っています。その島の中で、再び、そして新しく人と人が「やさしく」そして「仲良く」くらししていくことの大切さを私達は改めて感じました。

そして、島の皆さんの力を中心としてまた、この間活動をご一緒してきた多くの方々と共に市民活動という立場で「やさしく」「仲良く」を具体的に表現する場所として、みやげじま『風の家』は誕生しました。そして、開設から4年目を向かえ、ここで育まれる「やさしさ」と「仲良し」はこれからの時代の中で、実はとても大切なことにつながっていくと感じています。

^o^ (「しま」ニュース)

11月も後半に入り、あちらこちらで「サツマの煮切干」作りが始まっています。三宅島独特の『サツマもち』には欠かすことのできない煮切干。今年のサツマイモの出来は夏の猛暑で心配されましたが、やっぱり島のサツマはおいしいです！“テルコ”“オツル”“どんびらっこ”どちらも甘くてホッカリ。サトイモだって天下一品のおいしさです。島の大切な恵ですね。

『風の家』の人たちの中でも、日々畑と向き合っている人がたくさんいます。季節の移り変わりを畑の話で知ることができます。とてもありがたいことですね。



(^O^) みやけじま「風の家」の人たち

秋晴れのとある一日。旧阿古地区のなかに作られた「遊歩道」でお散歩です。普段お家で使っているカートと一緒に出発です！

普段から散歩を心がけて歩いている人もいれば、足が痛かったりしてなかなか歩く機会が無い人もいます。

しかし、みんなが一緒なら「ヨイショ」と出発できました。雄大な眺めではありますが、嘗てそこにあった家々を思い出しながら会話は昔へとタイムスリップです。最後は「良くここまで立ち直って、島のもんは強いんだよ！」「ここまで来たんだから、元気でいなきゃな！」と島に住む人々への心からのエールが贈られました。



(^J) これからの予定

●『年末おそうじボランティア』

毎年行っている『年末おそうじボランティア』。このプログラムは、ご高齢の方のお宅に実際にお伺いして年末の大掃除のお手伝いをする中で、参加する東京からのボランティアと島の中学生が、ゆっくりとした交流を深めていくことを目的に行われます。

“今年も良い出会いとなりますように”
12月6(土)/13(土)に実施します。

●『交流 もちつき会』

一年のしめくくりとして、毎年開催している『交流 もちつき会』。今年もたくさんの開催に向けたお声をいただきました。例年100人を超えるたくさんの方々にご参加・ご協力をいただき開催をさせていただきました。今年も多くの方々と一緒に「良い交流」の機会として開催させていただきたいと思っております！日頃『風の家』をご利用また、運営に直接的に参加していただいている皆さんだけではなく、地域の皆さんまた、広くご支援・ご協力いただいている皆さん、そして東京からも関係の皆さんにご参加いただき開催したいと考えています。

今年一年の労をねぎらうと共に、新しい年にむけた「希望」へとつながる「やさしさの行き交う」会にしたいと思います。

期日：平成20年12月21日(日曜日)

時間：午前11時から午後2時

場所：みやけじま『風の家』



(^_^) / ご支援いただきありがとうございます

みやけじま『風の家』は月曜から土曜までの、朝10時から夕方3時まで開設しています。

(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

お近くにお越しの際は、どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。